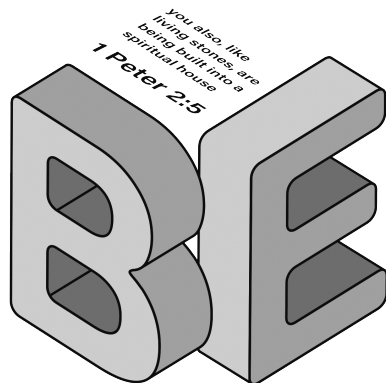


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。

(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/11/3(月)

エレミヤ 31:1-22

●神様は、イスラエルがどんな状況でも、イスラエルの前に現れてくださり、救いを与えてくださる(3)。救いによってイスラエルの民はどう変わると預言されているだろうか。(4、5、8、12-14)

★あなたには、「建て直された経験」があるだろうか。ある人は、静まってそれを考えよう。ない人は、家の教会や教会のお兄さん、お姉さんに聞いてみよう！

2025/11/4(火)

エレミヤ 31:23-40

●エレミヤが眠りから目覚めたとき、深い平安が彼の中にあった(23-26)。神様からの希望の約束と語りかけに静かに耳を傾けることを君はどのように味わっているだろうか。

●神様は「新しい契約」を結ぶと約束された。イスラエルは石の板に書かれた律法を守ることに失敗したけれど、今イエスを信じる者の内には聖霊がおられる。肉の力では不可能だったことが、御霊によって生きる者の歩みの中に表されるんだ。今日、心の真ん中に神様を迎えて歩もう！聖霊の働きに目をとめ続けられるように祈ろう！

2025/11/5(水)

エレミヤ 32:1-25

●この時エレミヤはどんな状態にあったと書いてあるかな？また、それはなぜだったのだろうか(1-5)。

●主がエレミヤに語られたことは不思議なことだった。今まさに国が滅びようとしている中で、金を払って畑を買うように言われたからだ。滅びることばかり見ていたら、この行動には何の意味もないように見えるけれど、神様が語られたことは、回復だった。

今の現状ばかり見るのではなく、神様の約束に目を留める大切さを考えよう。今日神様と共に歩むことが神様のご計画に繋がっている事を覚えよう！

2025/11/6(木)

エレミヤ 32:26-44

●神様の怒りがなぜユダの上に注がれたのか。その理由が30～35節に語られているね。改めて、ユダにどのような罪があったのか読んでみよう。

●ところが、36節から神様は希望を語る。彼らを元の場所に帰らせるだけでなく、彼ら自身を変えてくださることが語られる。神様は君の心に働きかけ、内側から変えてくださる方なんだ。39節を読もう。神様を恐れる心を持ち、そして「一つの心と一つの道」とあるように、神様に心を定めることができるように祈ろう！

2025/11/7(金)

エレミヤ 33章

これまでイスラエルは神様に背き続けた罪によってバビロンに滅ぼされる預言がされてきたね。7,8節を読んでみよう。

●神様は、滅ぼされたイスラエルをどうすると言っているだろう？

●イスラエルの民が犯した罪については何と言っているかな？

●この預言は捕囚が起こる前に語られたものなんだ。神様はイスラエルの民が悔い改める前から、罪を赦すと言っているよ。もし、君の中で罪だなと思うことがあったら、リーダーと一緒に神様に祈ってみよう。

2025/11/8(土)

エレミヤ 34章

今日の箇所はエルサレムが滅ぼされる約3年前のことを記していると言われているよ。

奴隷の立場の人たちにどのようにかわり扱っているか、それに対して神様がどう思われているかが書かれている。『剣城と疫病と飢饉の解放を宣言する』と言われる背景には、神様との契約を軽くみていたり、その場しのぎに悔い改めたりしていた人々の信仰の弱さがあったんだ。

・神様が願っていることを私たちは1番に考えているかな？

・他のことを1番に考えているとしたら、どんなことを考えているだろう？

・神様に自分の心に来てくださるよう、語られたことに従うことができるように祈ろう！

2025/11/9(日)

エレミヤ 35章

ここでは戒めを守ったレカブ人と、不従順なユダの民が対比して書かれています。

神様は先祖ヨナダブの命令に聞き従ったレカブ人を褒め、レカブ族が絶えることはないと言われます。

一方、「他の神々を慕って、仕えてはならない」という命令に従わなかったユダの民たちには、わざわいを下す、と語られました。

従った者と従わなかった者には明確な違いがあるね。

様々な価値観や考え方が混ざり合う今の時代にあって、私たちが真に聞き従うべきはなんでしょうか。

家族や友人と、何に従うべきか分かち合ってみよう。